

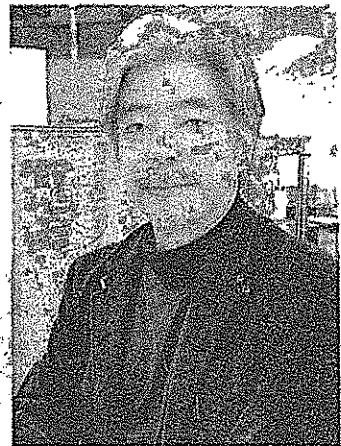
12/5 木曜

「非軍事」の役割こそ

若者の声に応えたい

私は紛争地で活動するN
GOの立場から「戦争法の
廃止を求める統一署名」に
署名します。

9月に強行成立された安
保諸法は、自衛隊による武
力行使、他国軍への後方支
援、武器使用の緩和など、
想定されるあらゆるケース
において日本が当事者とし
て紛争に軍事力で参加する
ことを認めるものです。そ



私もサイン

戦後70年、日本がどの
国とも戦争せず、平和を
維持できたのは、平和憲
法の存在があったからで
す。父はシベリア抑留、
母は岐阜空襲を経験し、
命の大切さを教えてくれ
ました。

して現代の紛争はそのほと
んどがいわゆる「対テロ」
戦争であり、住民の中でもた
たかわれる戦争にほかなり
ません。つまり一般住民を
も敵に回す戦争なのです。

一度武器を用いた途端
に、自衛隊のみならず私た
ちNGOも、一般の日本人
さえも攻撃の対象となりま
す。国際市民社会から日本
独自の役割として期待され
る紛争解決の非軍事の役割
をも捨てるものなのです。

岐阜市議(無所属クラブ代表)

松原 徳和さん

月議会で憲法違反の戦争
法廃案求める意見書を共
産党、無所属クラブ代表
が共同提出して賛成討論
をしました。

否決されましたが、私
は街頭に出て、共産党議
員のみなさんと戦争法廃
止を訴え、集会、デモに
参加し、「アベ政治を許
さない」を高々と掲げま
した。

18歳選挙権が成立し、
若者や高校生が「選挙に
行こう」「野党は共闘」
と必死に呼びかけてい
ます。2000万統一署
名は、この切実な声に
応えていきます。私も廃
止まで全力で頑張ります。



「NGO非戦ネット」呼びかけ人

谷山 博史さん

谷山 博史さん

